

2023・1 vol.52



原町本店  
〒975-0003  
南相馬市原町区栄町2-83  
TEL:0244-24-2929

いわき店  
〒970-8026  
いわき市平三倉69-8 第2地産ビル1F  
TEL:0246-85-5298

今年もよろしく  
おねがいします

# 謹賀新年



昨年もたくさんのお客様に支えられ、コロナウイルスの影響がある中でも原町店・いわき店共につつがなく営業できたこと、心より感謝申し上げます。今年こそ、コロナに翻弄されることなく着物生活を楽しみたい！着物でお出かけできる機会を増やしたい！などを願いながら、コロナ騒ぎのまま3回目の新年を迎えてしまいました。なんと今年は卯年。まさに飛躍の年ではないですか！！

卯(うさぎ)は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。また、他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。今年もみなさまと共に、ワクワクするような着物生活を楽しみたいと思います！体験会やワークショップなどにも力を入れていきたいと思っています。新しいことにもチャレンジしたいですね！

今年も原町本店・いわき店両店共にどうぞよろしくお願いいたします。

参加者  
募集！

## よろづ屋 原町本店 〈糸かけ曼荼羅(まんだら)ワークショップ〉

絹糸を使って、糸をかけながら曼荼羅の模様を作るワークショップを開催します。  
自分の好きな色の配色で、素敵な曼荼羅の模様を作ってみませんか？

糸かけ曼荼羅は素数の数ずつ糸をかけていくと、糸をかけ始めたスタート地点に必ず戻ってきて、幾何学模様が出来上がります。糸をかける順番を間違わなければ綺麗な模様が出来上がる工程で、なんとも言えない不思議な感覚が体験できます。集中して一定のリズムで作る糸かけ曼荼羅は、作り終わると頭がスッキリし心の落ち着きをもたらす、ストレスが溜まっている方やうつ病の方の改善に良い効果が期待されます。子供からお年寄りの方まで簡単に作ることも魅力です。初心者でもわかりやすいように、講師が丁寧に指導してくれます。作品はお持ち帰りいただき、お部屋のインテリアとしてお使いいただけます。

日時:2023年1月19日(木) ※各日4名様まで  
1月20日(金)

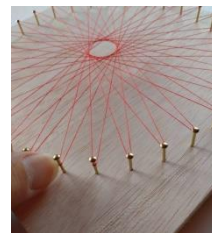
時間:午後1時30分～(2時間程度かかります)

参加費:お一人 1,800円(材料費込)

持ち物:糸切りばさみ

申し込み締め切り 1月14日(土)まで

※糸をかける台はこちらで準備します。



# < にっぽんの色と文様～その1 睦月編～ >

日本の自然や文化から生まれた伝統の色や文様について一緒に学びましょう！

一年の始まりは縁起良くいきましょう！

新しい年に、新コーナー始めました！！



## 銀朱(ぎんしゅ)

太陽や炎の色を連想させるような黄みのある鮮やかな赤色です。その鮮烈さから、古くから神聖視されるものに使われてきました。五重塔や金堂などは今もまばゆい朱に染まっています。みなぎるエネルギーを感じますね。



おめでたい文様の代表松竹梅。マツは「待つ」に通じる持久力の象徴、ウメは寒さの中で花開くことから忍耐力の象徴、タケはすくすく伸びることから成長の象徴とされ、遅く生き抜く生命力をはじめ人として大切なことを学ぶことができる植物とされてきました。

## 天藍(てんらん)

色名の「天」は限りなく美しいことを指します。藍色の中でも最高の美しさを誇る色だと考えられるのも納得ですね。空気が澄んだ冬の日に、伸びやかに晴れ渡った青空のような、静寂の中にも明るさを兼ね備えた色合いです。



雪持ち笹文様はササに雪が積もった様子を描いたもの。情緒的で美しい文様として染織をはじめ様々なものに見られます。雪が積もる植物には、マツ、タケ、バショウ、ヤナギなどがあり、これらも「雪持ち文」と呼ばれる雪文の一種です。



水仙文は春に先駆けて香りの良い花を咲かせることから、雪中花、春玉、雅客とも呼ばれるスイセンを描いたものです。漢字に仙人の「仙」を用いることから仙人に通じる縁起が良い植物として文様に取り入れられました。

## 着物のお手入れあれこれ

着物のお手入れはめんどくだし、お金もかかるし…など、着物は着たいけどお手入れのことまで考えると難しいと思っている方も多いと思います。めんどくさいことはプロに任せて、自分でできる範囲であれこれやってみませんか？知っておいて損はないお手入れのあれこれ教えます。

### <お手入れその3 シミ抜き>

着物を解かずに、シミや汚れを落とす方法です。汚れの種類によって、専門家が様々な薬品や洗剤を組み合わせることで手作業で落とします。すぐについてしまったシミなどは、生地を傷めることなく落とすことができますが、時間が経った古いシミや頑固な汚れを落とす場合は、汚れと一緒に染料が落ちる場合もあります。色差しといって、染めを新たに加えて見映えを整えるのも職人の技術です。ただ、古いシミほど手間と時間がかかるので、コストもかかります。また、生地を傷める恐れがあるので落とせる限界もあります。処置が早いほど、高い確率で汚れが落ちやすく、生地を傷めることもありません。シミがついてしまったら、なるべく早めに対処するのが一番です。その時に、わかる範囲でどのようなシミなのか教えていただくと助かります。



今月のおススメ！

帯下締め  
(税込)

今回のおススメ商品は、補整に便利な「帯下締め」です。綿100%で通気性に優れ、締め心地も快適な帯下締め。伊達締めの代わりとしてもお使いになれます。胸下あたりの補整が足りなくて、帯の上に胸が乗ってしまうため、なんとなくスッキリした着姿にならない、胸回りに段差をなくしてスッキリ着たいなどのお悩みに大活躍です。ふっくらと適度な厚みがあるので、肌着や長襦袢の上どちらでも使用できます。シボのある綿生地の両端に紐がついており、結ぶのも楽チンです。なるべく、紐の数は少なく補整を減らしたい方にオススメです。腰回りの補整にもお使いいただけます。使い方のアドバイスなどはいつでもご相談ください。簡単でやさしく、楽しく着物を着てみませんか～？



…若女将のつづやき…

毎月1回、勉強と仕事を兼ねて上京している私の唯一の楽しみは……そう、もちろん「ランチ」です。開催場所である人形町は右も左も美味しい物だらけ！もちろんランチタイムには行列ができ、短い昼休みの全ての時間をランチに費やすのです！毎回、塾生の仲間たちとランチに繰り出すのですが、先月行った「三友」のカキフライがめっちゃめっちゃ美味しかったです。ビックリするような大きなカキフライは、一口かじると中から何個も何個もカキが出てきて、カキフライのマリョーシカや！たぶん自分の中のナンバーワンのカキフライです。2023年も健康第一をモットーに、ダイエットはできないけれど、美味しいものを探し求めて、食いしん坊の一年にしたいと思います♪

